



銀天エコプラザの来期はどうなるのか？

宇部市まちなか環境学習館指定管理者

NPO法人うべ環境コミュニティー 浮田正夫

コロナ禍の影響が長引き、我が国の経済環境にも大きな陰を落としつつありますが、宇部市も厳しい財政合理化を進めなければならない状況にあるようです。

このような中、まちなか環境学習館の指定管理契約2期目の5年間で年度末で終了します。宇部市の方で次年度以降の計画が検討されているようですが、学習室のサービス業務はなくなる可能性もあるのではないかと考えています。2011年8月1日の開館以来延べ74,000名の方々に利用していただき、利用者からは喜ばれ重宝されてきました。どのような状況になろうとも、時代の流れと受け止めなければなりません。

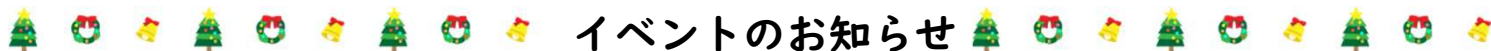
このように現時点では、次年度の見込みについてまだ不透明な部分が多いですが、当初から関わった者の一人として、可能ならば持続可能な発展のための教育（ESD）の推進と、宇部市環境学習ポータルサイト“うべくる”の充実に力を注いで行きたいと考えています。

ESDとは、自分の良さを活かして誰もが強く生きていける若者達の育成、言い換えれば持続可能な社会実現に向けたSDGsの達成を担う人材の育成です。

ポータルサイトの充実については、市内を中心とした環境関連団体の活動の紹介や情報ネットワークとしての

本来的な役割を強化するとともに、一般市民に対する広報力を高めることが重要です。そのためにはその面での専門的な知識も必要と思われます。

これから高齢化が進む中ますます難しい時代になり、われわれNPO組織の維持にも多くの課題を抱えています。銀天エコプラザがSDGs推進センターとも連携して、受験勉強の場から、将来の社会課題を解決する人材育成の場に進化できるよう努力したいと思います。



イベントのお知らせ

第4回ESD研修会

『山口県におけるESDの取り組みについて』

- ◆「山口県における社会教育の現状」
赤田博夫氏（ESDうべ推進協議会副会長）
- ◆「ESDに配慮した教員研修について」
岩崎和弘氏（山口県総合教育支援センター）

日時：2020年12月12日（土）15時～17時

場所：宇部市立図書館講堂

（宇部市常盤町一丁目7番1号）

ESDうべ推進協議会副会長の赤田氏と参与の岩崎氏から、山口県におけるSDGs、ESDの現状や、ESDに配慮した教員研修等についてお話を伺い、今後の課題について参加の皆さまと議論し、理解を深めたいと思います。

資料代500円（高校生以下無料）

申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい。

第3回読書感想会

in 宇部市まちなか環境学習館

日時：2020年12月19日（土）15時～

場所：宇部市まちなか環境学習館 4階

お気に入りの本を紹介発表して下さる方、またそれを聞きに来て下さる方を募集します。どなたでもご参加できますが、特に若い方の参加を歓迎いたします。お友達と一緒に気軽に参加しませんか？発表者の方には記念品を進呈いたします。お申し込みをお待ちしています！（参加費無料・要申込）



第108回まちなかおそうじ隊

日時：2020年12月27日（日）15時～

集合：学習館前（道具不要、申込不要）

一緒にまちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードを掃除しましょう！修了後は茶話会を行います。



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

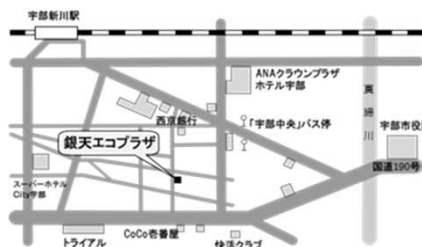
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）



宇部フロンティア大学附属香川高等学校 生活デザイン科・パソコン部ESD活動の取り組み

本校生活デザイン科ではファッションやコンピュータの専門的知識・技術を学びます。また、パソコン部は普通科の生徒も多く、デジタル社会構築に向けて生活デザイン科の生徒とともに様々な地域活動をITの視点から行っています。3年前から宇部市伝統芸能文化である「岩戸神楽舞」復興プロジェクトに復興委員会のご協力を得て、活動をしています。3年かけた衣装の復活・製作は本年度にすべて完成しました。また、地域への情報発信として「岩戸神楽舞アプリ」の開発、これは市内の文化財検索アプリとして運用しています。ホームページやFacebookの開設、管理も引き続き行っています。11月1日には本校生徒がオリジナルロゴを考えて採用された「岩戸神楽舞オリジナルグッズ」の販売がこもれびの郷で開始されました。現在はLINEのスタンプ開発においてオリジナルキャラクターを使って制作しています。この岩戸神楽舞復興を中心として、情報発信も含めて地域の様々な活動にも積極的に参加させていただいています。宇部市内で実施される新川まつりではきつねの衣装の製作、メイクのお手伝い、ミズベリングやわくわくフェスタでのガラスドームアクセサリワークショップ、eス

ポーツや5Gイベントのコーナーを担当し、地域の方々と連携して普及活動を行っています。また、ときわ植物園での岩戸神楽舞衣装やクラフトホリデーでの浴衣ミニファッションショーなどでは生徒がモデルとなりその魅力を地域の方に披露することができました。これらの活動は、地域のみなさまの理解と協力があってからこそであり、生徒たちも学校の枠を超えた地域や人とのつながりの大切さを感じるものとなっています。学校の中だけでは体験することができない活動はまちがないく生徒自身の自信や力になっていることを日々感じています。生活デザイン科やパソコン部ではより一層充実した活動を継続していきたいと考えています。

重村直子（宇部フロンティア大学附属香川高等学校教諭）



岩戸神楽舞衣装の復活・制作



岩戸神楽舞
オリジナルロゴ

うべ環境コミュニティ会員 ほっと コラム

2020年度第2回読書感想会報告

今年度、うべ環境コミュニティは宇部市地域創生事業の助成を受けて「未来を担う世代を対象としたESDプログラム」を実施しています。まちなか環境学習館を利用する若い人達に、より広い視野や環境問題への関心を持ってもらい、ESDの素養を身につけるきっかけを提供することによって、SDGsにおける人材育成に貢献することを目的としています。また、読書の習慣が少なくなった若い人達に読書のきっかけを与え、環境図書や昨年度に設けられたまちかどブックコーナーの活用につなげることも目的としています。

このプログラムの一環として、10月24日第2回読書感想会in宇部市まちなか環境学習館が開催されました。開催の趣旨は、本の感想を紹介し合うことで普段読まない本への興味を参加者に持ってもらう、今後の読書の幅を広げてもらうことです。今回はまちなか環境学習館3階の学習室を日頃利用している2名の方とそのお友達の合計3名がおすすめの本を紹介しました。高校3年生の中村圭祐さんは「小説 君の名は。」（著者：新海誠）を、大学4年生の廣田愛実さんは「糸」（著者：林民夫）を、大学4年生の高野香穂さんは「火のないところに煙は」（著者：芦沢央）を紹介してくれました。最初の二つはいずれも映画の原作小説で、お二人とも映画も小説もどちらも知った上で、小説と映画の違いなども踏まえて感想をお話ししてくれました。二つの小説とも人との出会いがテーマで、人生における様々な出会いは偶然ではなく運



会場参加者7名に加えウェブ上で2名が視聴

命ではないかと思わせるものでした。三つ目は2019年度本屋大賞にノミネートされたホラー小説で、実在する場所などが舞台となっていることでじわじわと不気味さを感じるとのことでした。3名とも、後で本を読みたいと思わせる魅力的な発表をしてくれました。

最後にまちなか環境学習館職員の私から、環境関連の本の紹介として「うちにカブトガニがやってきた!？」（著者：石井里律子）を紹介しました。生きている化石カブトガニを自宅で飼育した家族を描いたノンフィクションで、児童向けですが子育て、教育（まさにESD）について考えさせられる本で、ぜひ大人にも読んでいただきたいと思い取り上げました。

今回少人数でアットホームな雰囲気での開催となり、新しい本との出会いだけでなく、参加者同士の出会いも素敵だと思える暖かい会になりました。第3回目は12月19日に予定しています。ぜひご参加ください。

山本裕子（宇部市まちなか環境学習館職員）

